

(様式2)

平成 24 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590100606		
法人名	株式会社大栄		
事業所名	グループホームさくらの里		
所在地	新潟市南区茨曾根1723番地1		
自己評価作成日	平成24年8月28日	評価結果市町村受理日	

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kani=true&JiyouyoCd=1590100606-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ウェルフェアー普及協会		
所在地	新潟県三条市東三条1-6-14 (調査事務局:新潟県三条市高岡155)		
訪問調査日	平成24年9月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域行事に参加して、地域の方達と一緒に楽しみ、お互いに顔を知って頂けるようにしている。
又、住民の方達や子供たちに、いつでも気軽に来てくださいと声をかけたり、地域の集まりに積極的に参加している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成22年6月に開設し、2年が経過している。先回の外部評価の目標達成計画を全職員で話し合い取り組んだ。
地域には開設前からあいさつ回りしており、桃の花見に誘ってもらったり祭りに参加している。また、小・中学校の文化祭に出かけたり、児童が授業の一環としてホームに来て利用者に関わる等、交流を図っている。
管理者は、利用者の思いに寄り添ったケアを重視したいと、小さなことでも利用者の言葉に耳を傾け、利用者の笑顔に癒されながら試行錯誤して一生懸命取り組んでいる。
利用者が大変穏やかで、とても温かい雰囲気であった。利用者同士がホール以外でもおしゃべりできるよう廊下にはベンチが設置され利用者も活用している。利用者個々が楽しく過ごしやすいように支援している。
職員は、職員同士がもっとコミュニケーションを図ることが必要と話しており、今後の課題としている。利用者の安全確保を第一に自立支援しているホームである。